

コウノトリの餌資源調査（調査手法の確認）のご案内

コウノトリ（国の特別天然記念物）が雲南市大東町地内で繁殖し、この6月24日に4羽目の幼鳥が巣立ちました。“野生復帰後、野外の1つの巣から1シーズンで4羽巣立つのは全国初”とのことです。

そこで、本分科会では“コウノトリが雲南市を選んだのは豊富な餌資源ではないか”と仮定し、地域貢献活動の一環として、コウノトリの飛来地周辺の餌資源調査を行うこととしました。調査で得られた情報は研究報告にとりまとめるなど、地域にも積極的に提供する予定です。

ただ、分科会でも現地調査は初めての試みなので、参加者同士で調査手法を確認するための事前調査を行うこととしました。調査は、兵庫県で考案された簡易的、かつ、定量的な手法で行います。

急なお知らせになりますが、コウノトリに関心のある方、地域づくりに関心のある方、環境調査を体験してみたい方など、興味のある方はぜひご参加ください。巣立ったばかりの幼鳥にも会うことができます。

なお、調査は秋季にも予定しております。次回の調査日程は早めにお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

【CPD エビデンスの発行について】

今回の調査に参加された方は、6時間分の参加証明書（CPD エビデンス）を発行します。例えば建設コンサルタンツ協会のCPDでは、「地域貢献活動」として6ポイントを登録することができます。

1. 調査行程

■7月16日（月・祝）

- ・09:30 ショッピングセンター「グリーンシティ」の駐車場集合【裏面参照】
- ・09:30～12:30 餌資源調査（1～2箇所）
- ・12:30～13:30 昼食・休憩
- ・13:30～16:30 餌資源調査（2～3箇所）

※最初にコウノトリの営巣地を確認し、その後調査を行います。

※調査はコウノトリの飛翔履歴のある春殖、幡屋、佐世地区、コウノトリの飛来を待ち望む山王寺地区の中から選定します（現在、地権者・管理者の方と調整中）。

- ・16:30 解散



2. 参加費

- ・特になし（昼食代1コイン程度）

3. その他

- ・ **調査時の服装**：多少汚れてもよい服装（作業着など）をお願いします。また、長靴、帽子も準備願います。その他雨具（カッパなど）、タオル、着替えなど、各自準備をお願いします。
- ・ **熱中症対策**：500ml/人のお茶、塩タブレットなども準備したいと思いますが、各自の対策をお願いします。
- ・ **保険の加入**：現地作業のため保険にも加入したいと思います。参加申し込みされた方には保険加入に必要な個人情報の提供をお願いしますと思いますのでご了承ください。
- ・ **調査用具**：調査に必要な用具（手網・水槽・調査票など）はこちらで準備しますが、なじみの道具があれば持参されても構いません。
- ・ その他、ご不明な点があれば、大嶋（申し込み先）までご連絡下さい。

4. 申し込み

- ・ 申し込み先：大嶋 辰也（株式会社ウエスコ）
(E-mail：t-oshima@wesco.co.jp、 携帯：090-6849-3152)
- ・ 申し込み期限：平成30年7月13日（金）
※申し込み期限を超えても、参加希望の方は大嶋携帯に連絡をいただければ、可能な限り参加できるよう配慮します。

【当日の集合場所】

